

市制施行40周年記念式典



小郡市は、昭和47年4月1日に市制施行し、今年で市制施行40周年を迎えました。

40周年を迎え、11月3日に市民や関係者約350人の参加のもと、市制施行40周年記念式典を開催しました。式典では、おごおり七夕太鼓白鷺会による太鼓の演奏や堀尾正明さん(フリーアナウンサー)による記念講演会が行われました。

記念式典挨拶

小郡市長 平安 正知

菊の花が馥郁と香る「文化の日」に、小郡市市制施行40周年記念式典を挙行できることは、小郡市長として光栄この上なく、万感胸に迫る思いです。

顧みますと、昭和30年に小郡町・三国村・立石村・御原村・味坂村の一町四村の合併で、人口23,286人の小郡町が誕生しました。九州最大の商業都市・福岡市と筑後地方の中心都市・久留米市に挟まれた地理的条件と、福岡県の大動脈とも言える西鉄天神大牟田線が市を縦断するという交通の利便に恵まれた条件が重なり、その頃から人口の増加が著しく、都市化が進展しました。

そして、昭和47年、3万人特例法で市制施行が実現し、人口32,217人の小郡市が産声を上げました。

それから40年、農業の振興や企業誘致による商工業の振興発展はもとより、九州最大規模の小郡・筑紫野ニュータウンの開発、九州横断道の開通、甘木鉄道の運行開始、陸上競技場や野球場を有する



小郡運動公園や総合保健福祉センター「あすてらす」といった施設の充実、また、近年では高層住宅が建ち並ぶ

など、まちの景観も大きく変貌しました。今では人口59,500人を超え、前途洋々と隆々たる発展を遂げているところです。

このように小郡市が発展の歴史を刻んできました。市民の皆様のご支援とご協力ならびに多くの諸先輩・先人の方々の積年のご苦労とご努力が大きく花開いたからに他なりません。この場をお借りしまして、厚くお礼を申し上げます。

さて現在、小郡市は、古来より要衝の地として発展してきた歴史や豊かな文化を踏まえ、第5次小郡市総合振興計画の将来像、「人が輝き、笑顔あふれる快適緑園都市・おごおり」の実現に向けて取り組んでいるところです。

私は、市制40周年の意義は、過去の歩みを顧みるのではなく、来るべき次の世代に今日までの歩みをどう生かして行くかにあると思っています。

皆様方の温かい心と眼差しで見守られた本日の記念式典をしっかりと胸に刻み、更なる飛躍と発展を期して、大きく羽ばたいていきたいと決意を新たにしているところです。

どうか、皆様方の変わらぬご厚誼とご支援・ご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

小郡市40年のあゆみ

市制施行から40周年までの小郡市のあゆみを紹介します。市ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

昭和47年(1972年)

市制施行



▲市制施行記念パレード

昭和57年(1982年)

市の木、花、鳥を制定



▲しらさぎ



▲くすのき



▲ふじ

昭和62年(1987年)

小郡市民ふれあい広場(文学館、図書館、野田宇太郎文学資料館、文学散歩公園)完成



平成4年(1992年)

西鉄三国が丘駅開駅



平成7年(1995年)

小郡運動公園完成



平成16年(2004年)

七夕通り(原田駅大崎線)全線開通
総合保健福祉センター「あすてらす」完成
コミュニティバス運行開始

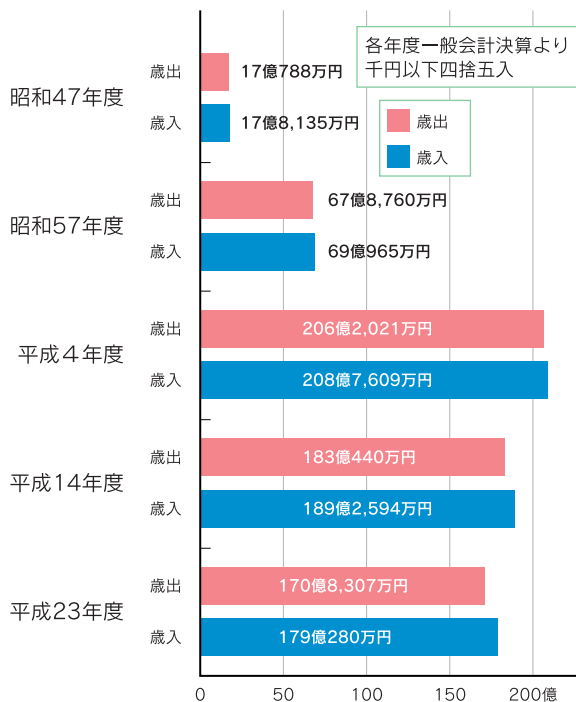


平成22年(2010年)

九州歴史資料館開館



一般会計歳入歳出額の推移



歴代市長

- 初代 佐々木敏雄(昭和47年4月1日就任)
- 二代 佐々木 保(昭和50年5月8日就任)
- 三代 佐藤 正成(昭和52年5月15日就任)
- 四代 山田 幸雄(昭和56年5月15日就任)
- 五代 田箆 勝彦(平成 5年5月15日就任)
- 六代 平安 正知(平成17年5月15日就任)

人口と世帯数の推移

